

令和2年 第4回理事会

日時：令和2年3月28日 13:30~15:00 場所：平成医療短期大学

出席者：須貝会長、安井氏、中根氏、吉田氏、田中氏、柴氏
山河氏、森島氏、東灘氏、中島氏、山田氏、加藤清氏、藤井氏
古桧山氏、廣瀬武氏、君垣氏、木下氏、廣渡氏

今回は新型コロナウイルスの感染拡大防止の措置として、理事会時間を短縮するために、各理事に事前に資料を確認いただき、理事会では主に検討事項について話し合いを行った。

会長（須貝）

■報告事項

1. 47都道府県委員会
2. 厚生労働省委託事業 介護ロボットのニーズ・シーズ連携強調協議会 成果報告会
3. 岐阜県理学療法学会 開会式来賓出席
4. 養成校卒業者向け 協会・士会プレゼン（入会促進事業）
5. NPO 法人岐阜心臓リハビリテーションネットワーク（CR-GNet）第3回全体会議
6. 養成校卒業式来賓出席→各校、来賓出席取りやめ措置の為派遣中止
7. 養成校入学式来賓出席（予定）

地域リハ推進部（須貝）

■報告事項

1. ぎふささえあいフェスタ 2019
2. POS 合同 生活期の言語聴覚療法研修会
3. POS 合同 地域包括ケアシステム推進会議

■検討事項

次期役員体制について

総会運営部長、広報部（一般）、機関紙編集部長、地方局（岐阜2名、中濃、飛騨）について候補者があれば、推薦願いたい。

広報部（田中）

■報告事項

1. 次号ごったにについて
2. その他
 - ・来年度以降メイン：山田病院、サブ：山内ホスピタル、サポート：岐阜清流病院で検討。
 - ・広報誌の執筆を断るケースあり
 - 理事所属の施設に依頼した場合は、断らずに引き受けてほしい。

■検討事項

広報誌の発行時期について

2018年→4.7.10.1月の発行 2019年→5.8.11.2月の発行

良い点：年始や年度末の活動に余裕がある

悪い点：2月の同封物が少なく、県士会活動の予定等も広報できなかった

来年度も5.8.11.2月の発行を継続で良いか？2月発行を1月にしてはどうか？

→1月にしても次年度の活動は決まっていない可能性が多い。

今年度も2月に発行し、様子を見ていく。(来年度からは理事：田原氏)

機関誌編集部（石川）

■報告事項

平成31年-令和元年度は機関誌の発行ができなかった。平成30年度に比べ、論文投稿に関する問い合わせも少なかった。

令和2年度の予算は機関誌の印刷製本と発送費用で150,000円を計上。

■検討事項

なし

財務部（木下）

■報告事項

3月末-4月第1週 会計処理および予算立て、4月第2週 会計監査、

4月以降 活動費分配

■検討事項

来年度予算について

収支がマイナス20~30万円程度になってしまう。

生涯教育部への支出が多い（臨床実習指導者講習の延期の為）

→当士会としては、参加費1,000円は継続したい。

県士会員：現在588名（新人おおよそ50名程度プラス）新人入会により一定程度の収入あり。

事務局（山河）

■報告事項

現在の会員数は 588 名（前回理事会以降の退会者 6 名）

新理事、新人才リエンテーションは食事なし（状況によっては延期）

■検討事項

旅費申請書変更について

理由：事務処理の簡素化

現在は 1 回につき、1 枚使用しているが今後は 1 人 1 枚（各部ごと）とする。

支払いについてもその都度ではなく、年度末に 1 回支払う。（申し出があれば、年度末ではなく年度途中でも支払い可能）

部局長の確認印は必要か。→自書でも有効。

現職者研修について「共通」、「選択」と分ける必要があるのか？→申請書に関しては統一 ETC カードを士会で購入し、貸し出す→飛騨、東濃地域の方に使用していただく
次年度、この方法で実施する。

現職者研修（首藤）

■報告事項

第 2 回現職者選択研修を実施。

令和 2 年度の活動予定は 1) 第 1 回現職者共通研修（7 月）、2) 第 1 回現職者選択研修（MTDLP 基礎研修 8 月）、3) 第 2 回現職者選択研修（身体障害 10 月）、4) 第 2 回現職者共通研修+MTDLP 事例検討会（12 月）に実施予定

■検討事項

来年度の研修会開催において、参加人数によって会場を変更することは可能か？

会場は近石病院と平成医療短期大学の 2 会場とする。基本的には近石病院での開催だが、参加者が 40 名を超える場合には平成医療短期大学を会場とする（平成医療側と要相談）。

地方局（飛騨：野尻）

■報告事項

勉強会、懇親会の企画と開催について今回は未実施。

■検討事項

新人歓迎会や他職種の講師を招いて勉強会の開催を検討するも、新型コロナウイルスの影響もあり開催を控え、様子を見ていく。

地方局（岐阜：藤井）

■報告事項

1. 岐阜県域の組織化
2. ブロック別連絡網の整備
3. ブロック内の横の繋がり状況を把握
4. 地域包括ケアシステムの構築を目指した会員派遣

■検討事項

1. 地方局の理事 2 名の交代に伴う後任者の選出
2. ブロック組織の見直し
3. ブロック別活動の創出
4. 岐阜市、山県市における地域包括ケアシステム関連活動への派遣
5. 医療提供施設以外で勤務する会員との情報共有手段の確保
6. ブロック別資金の確保と使用

地方局（西濃：安井）

■報告事項

1. 西濃 OT 勉強会
2. 診療参加型実習に関するアンケートの実施

■検討事項

- ・ 5 月の勉強会開催か、中止か。現段階で内容や講師未定
- ・ 7 月の新人歓迎会は延期か。
→今後の新型コロナウイルス感染拡大の状況次第。

学会（古松山）

■報告事項

協賛金・抄録完成、演題 28 件査読終了

■検討事項

- ・ 新型コロナウイルスの影響で学会の開催はどうか。
→学会の開催が 6 月末なので、現時点での判断は難しい。
- ・ 学会は開催しても、市民公開講座、展示ブースの開催はどうか？規模の縮小等あれば早めに知りたい。最小の縮小であれば、演題と総会のみ開催となるか？
食事する会場 100 名程度、食事ないのであれば 1,200 名収容できる会場を抑えられる。
- ・ 演題・総会のみ開催→参加者が減ってしまうのではないかと？委任状の協力を得るしかないのではないか。

《まとめ》

最終決定は4月末に→開催であれば、演題と総会のみで開催
開催中止の場合、演題については発表したものとする（ポイントシール発行）
次回学会は岐阜地区（学会長は未定）

学術研修部（東灘）

■報告事項

精神科領域での研修会実施

■検討事項

なし

社会局（地域リハ推進部：君垣）

■報告事項

認知症アップデート研修会の実施

■検討事項

なし

生涯教育部（林節）

■報告事項

令和2年2月29日-3月1日に開催予定だった臨床実習指導者講習会は新型コロナウイルスの影響により中止となった。2019年度の開催ができなかったため、2020年度に持越し3回実施予定。予算が大幅に必要なことが予想される。

■検討事項

なし

制度対策委員：福祉用具（樺山）

■報告事項

福祉用具相談支援システム運用について2名の追加
現）都道府県相談アドバイザー 樺山氏、 追加）永井貴士氏、林あさ子氏

広報部一般（吉田）

■報告事項

ノベルティについてボトルオープナーを300購入。若干の予算オーバー（+2,450円）

■検討事項

既存のポスター100部。すべて配布後に新規ポスターを作製。新規にポスター作製すると値段が高い。友人のデザイナーに依頼予定（半額程度で了承頂いた）。